

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	70	学校名	仙台市立西中田小学校	校長名	駒沢 健二
------	----	-----	------------	-----	-------

- 1 取組のタイトル, テーマ
SDGsへの取組



- 2 取組の紹介

①栽培活動

今年度は仙台市環境局からたくさんのリサイクルプランターをいただきました。リサイクルプランターを活用して、環境委員会が昇降口前や校舎東側の道路沿いに季節の花を植えたり、学級・学年で朝顔のグリーンカーテンや野菜などの栽培をしたりしました。家庭から収集したプラスチックごみを原料に製造されたプランターということを知り、分別・リサイクルへの関心も深まりました。教材園では、サツマイモ、ミニトマト、きゅうり、なす、ほうれん草、カブなどの栽培を行いました。収穫後のサツマイモのつるを使って、クリスマスリースやツリーを作りました。地域のボランティアの方にもたくさん協力をいただきました。

②環境問題について

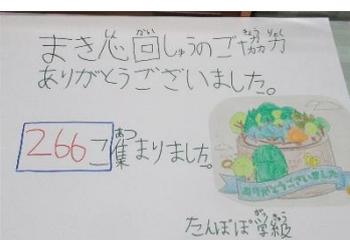
昨年度から引き続き、ニチバン巻心ECOプロジェクトに参加しました。緑の地球を守るために使用済みの粘着テープの巻心の回収を全校児童と職員に呼び掛けました。「もっとたくさんの巻心を集めたい。」という意見が児童から出され、地域の事業所の方に手紙を書いて協力をお願いしました。今年は昨年度を大きく上回り、266個の巻心が集まりました。

③食を大切に取る取組

給食委員会が給食週間の期間に「いっぱい食べたよカード」を用意して、残食が少ないクラスにシールを配りました。どのクラスも食べ物や作ってくださる方への感謝の気持ちを持って、給食を食べていました。

④紙やプラスチックなどのリサイクル

教室では、燃えるごみとプラスチックのごみを分別して捨てています。また、職員室や印刷室に、紙の分別コーナーを設置し、リサイクルしやすいようにしています。職員もエコ活動を意識して取り組んでいます。



- 3 取組の成果 (児童生徒の変容)

栽培活動や各委員会の取組を通して、全校児童が日常生活の中で自分たちにできることに取り組もうという気持ちが育ってきました。ごみは分別して捨てる、給食は食べ切れる量を配膳してできるだけ残さず食べる、再利用できるものはする、植物や食べ物を含め、命を大切にすることなどです。これからも児童の考えを大切にしながら、地域、家庭と連携してSDGsにつながる活動に取り組んでいきたいと思ひます。